

2019年9月期 決算説明資料

2019年11月14日

証券コード:4124



大阪油化工業株式会社



目次

1.決算概要

2.今後に関して

3.参考資料

1. 決算概要

2019年9月期 決算ハイライト

売上高

1,088百万円(前期比10.4%減)

営業利益

107百万円(前期比46.6%減)

当期純利益

72百万円(前期比36.9%減)

- ◆ 米中貿易摩擦による一部大口顧客の在庫調整の影響を受け、**減収減益**
- ◆ 2019年5月9日公表の修正業績予想を概ね**達成**
- ◆ 2019年9月期における配当については、期末に1株当たり**25円**の配当を実施予定

2019年9月期 損益計算書

- ◆ 売上高面及び利益面それぞれが、米中貿易摩擦による一部大口顧客の在庫調整の影響を受け、伸び悩む
- ◆ 費用面では、本社移転に係る費用の発生や製造及び営業人員の計画的な増強に伴う人件費の増加があったものの、製造経費等を削減し、全体として費用抑制

(単位:百万円)	2018年9月期	構成比(%)	2019年9月期	構成比(%)	増減率(%)
売上高	1,214	100.0	1,088	100.0	▲10.4
売上原価	685	56.4	648	59.6	▲5.3
売上総利益	529	43.6	439	40.4	▲17.0
販売費及び一般管理費	327	27.0	331	30.5	+1.2
営業利益	201	16.6	107	9.9	▲46.6
当期純利益	115	9.5	72	6.7	▲36.9
1株当たり当期純利益(円)	111.49		68.37		

2019年9月期 貸借対照表

◆ 連続蒸留塔の新設等により、固定資産が増加、現金及び預金が減少

(単位:百万円)		2018年9月期	2019年9月期	増減	主な増減要因
流動資産	1,199	954	▲245	現金及び預金▲155 売掛金▲96	
固定資産	596	847	+250	機械及び装置+151 建物+63	
資産合計	1,795	1,801	+5		
流動負債	157	143	▲13	未払金▲50,買掛金+23 未払法人税等+22	
固定負債	-	-	-	-	
負債合計	157	143	▲13		
純資産合計	1,638	1,657	+19	利益剰余金+32(当期純利益+72,配当▲38),自己株式▲13	
負債純資産合計	1,795	1,801	+5		

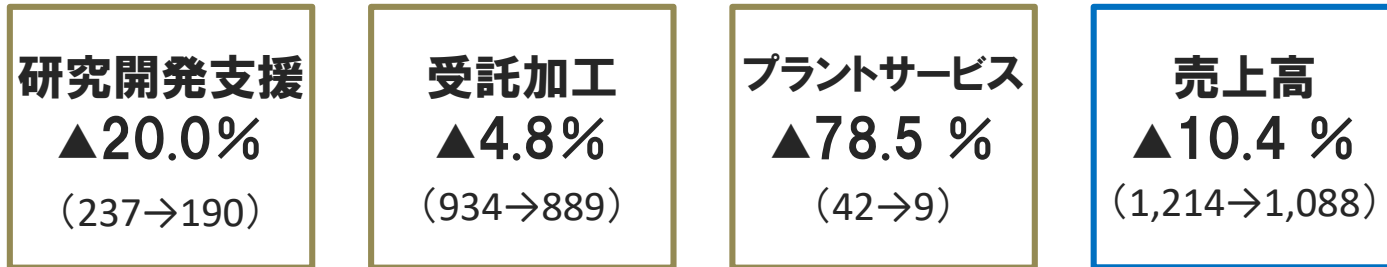
2019年9月期 キャッシュ・フロー計算書

- ◆ 営業活動によるキャッシュ・フローは、265百万円を獲得（前期比156百万円増）
- ◆ 連続蒸留塔の新設等による、合計361百万円の投資を実施（前期比163百万円増）

(単位:百万円)		2018年9月期	2019年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー		109	265	+156
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲198	▲361	▲163
フリー・キャッシュ・フロー		▲88	▲95	▲7
財務活動によるキャッシュ・フロー		591	▲59	▲650
現金及び現金同等物の増減額		502	▲155	▲657
現金及び現金同等物の期首残高		406	908	+502
現金及び現金同等物の期末残高		908	753	▲155

売上高推移

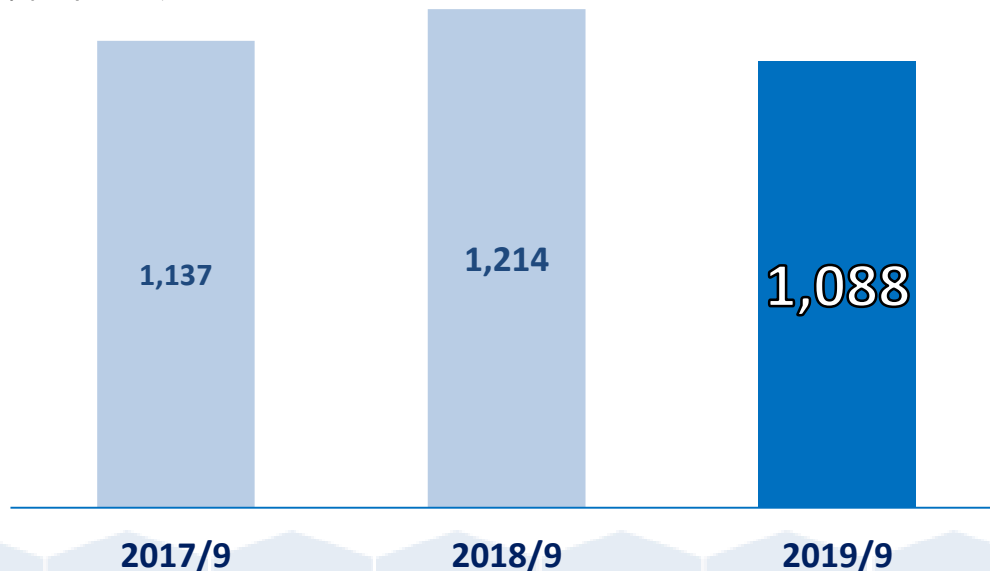
(単位:百万円)



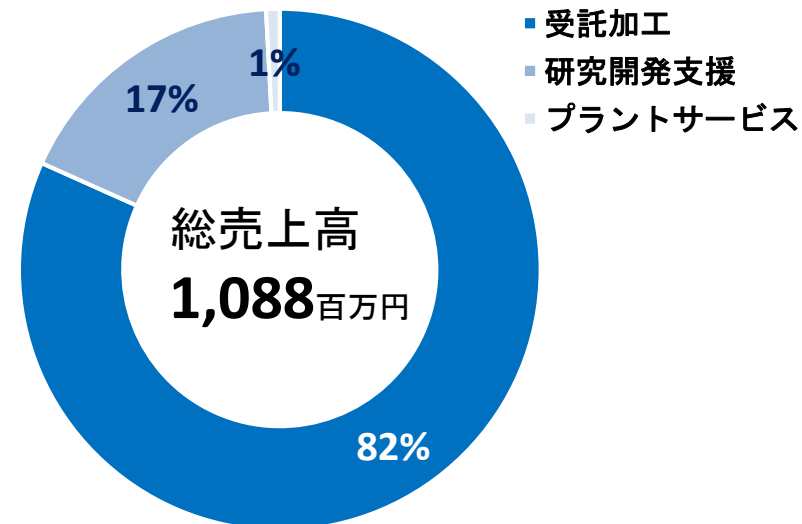
※前期比

<売上高>

(単位:百万円)



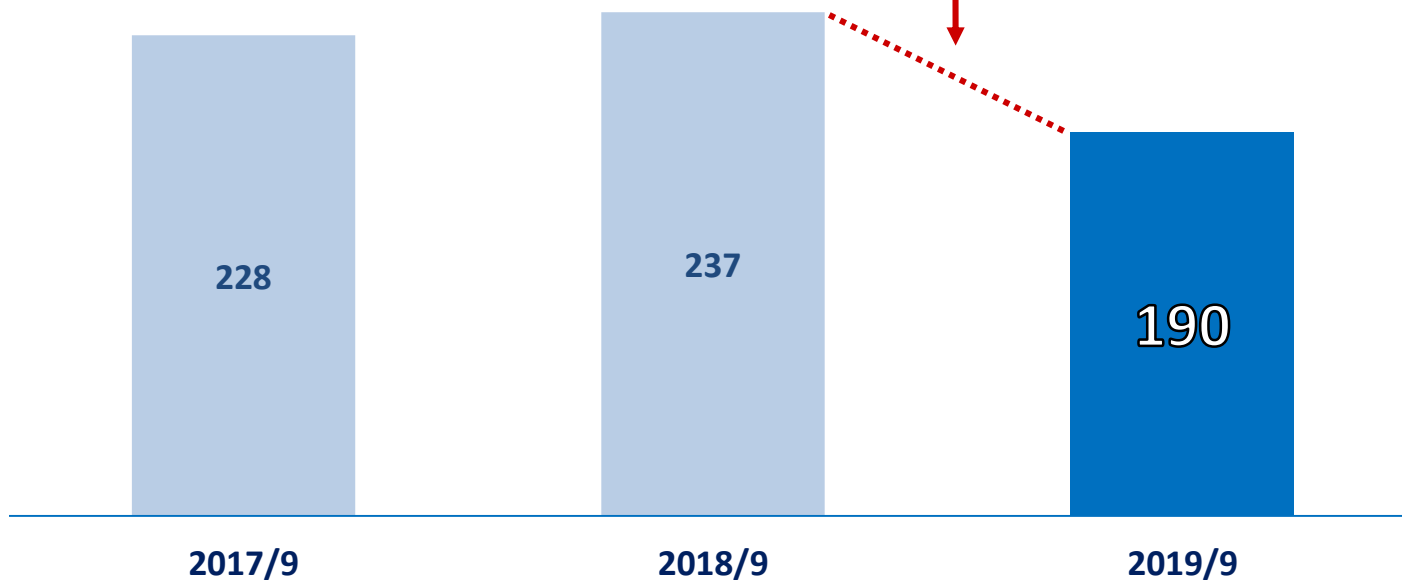
<売上高内訳>



研究開発支援

- ◆ 企業の活発な研究開発活動に支えられ、新規案件数は増加したものの、基礎研究段階の案件の割合が増加したことにより、**前期比20.0%減**

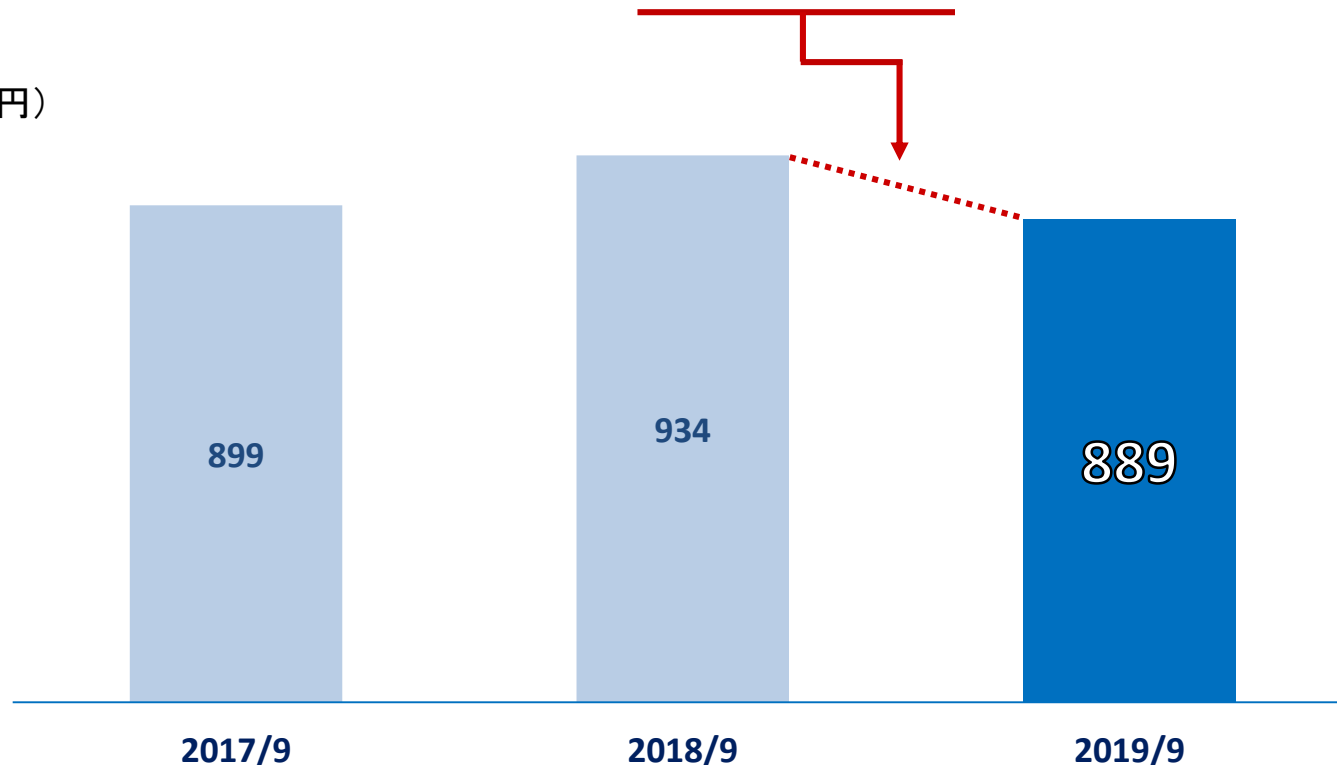
(単位:百万円)



受託加工

- ◆ 営業人員を増強する等の顧客対応充実に注力したこと及び企業の堅調な生産活動に支えられ、石油関連の受託案件は増加したものの、米中貿易摩擦による一部大口顧客の在庫調整が影響し、**前期比4.8%減**

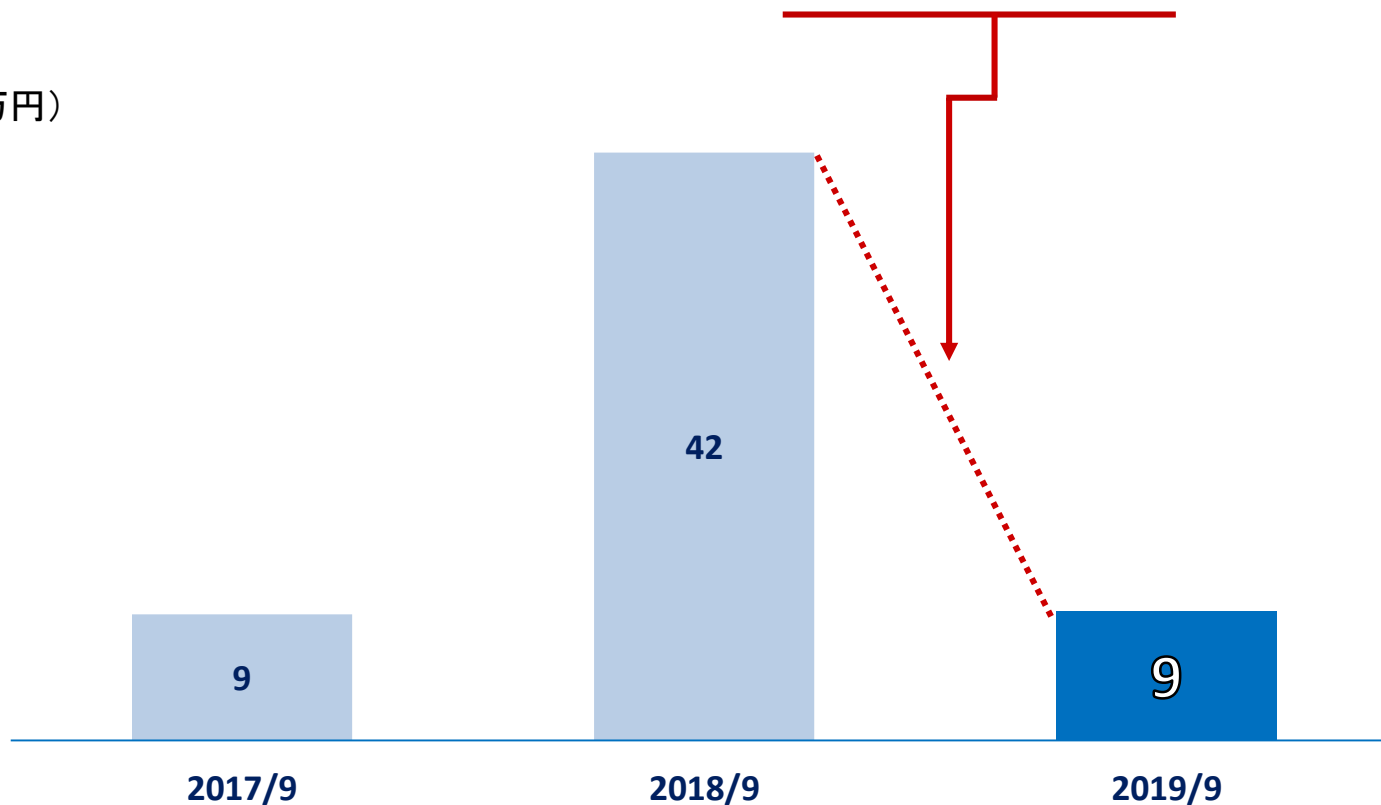
(単位:百万円)



プラントサービス

- ◆ 大型プラントの受注はなかったものの、研究開発用装置及びメンテナンスサービスの受注を獲得したことにより、9百万円計上（前期比78.5%減）

（単位：百万円）

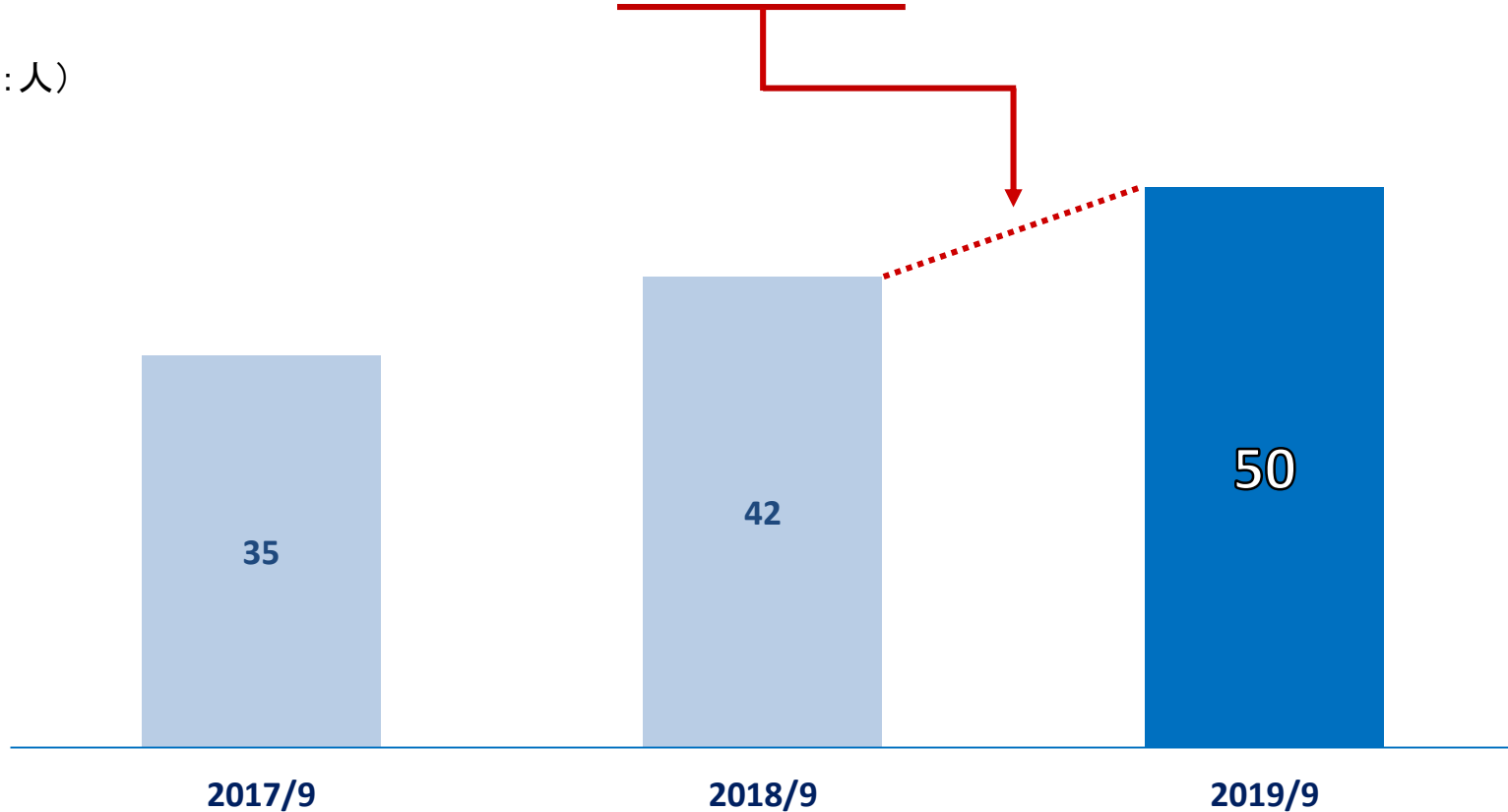


従業員数推移

- ◆ プラントサービスへの注力及び連続蒸留マルチプラントの稼働の為、技術者を増員

前期比8名増

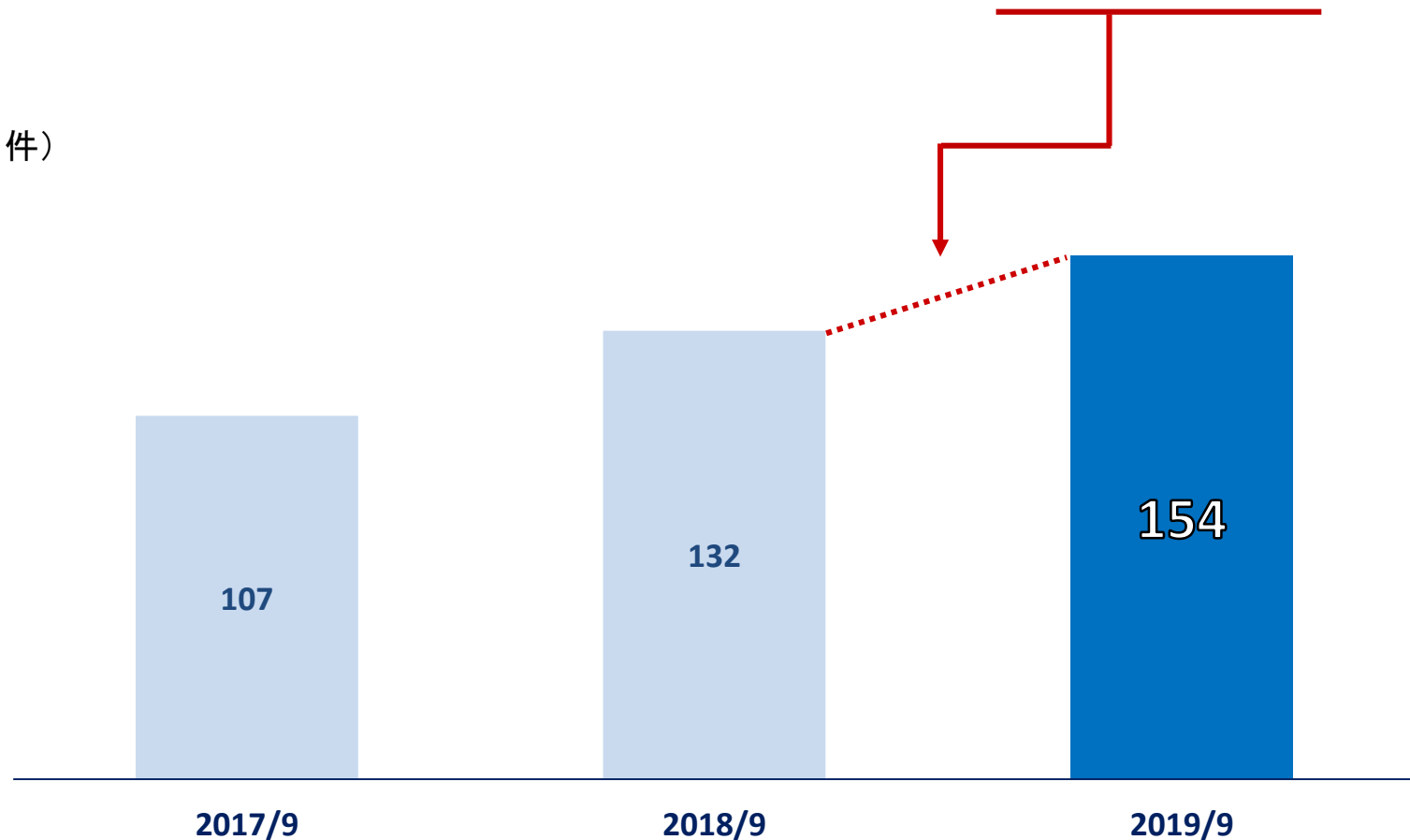
(単位:人)



問い合わせ件数推移

- ◆ 株式上場及び展示会出展等による知名度向上により、**前期比16.7%増**

(単位:件)



新規取引件数

- ◆ 新規取引件数は、増加傾向
- ◆ 今まで取引の無かった業界からも取引増加
- ◆ 研究テーマに関しても、スケールアップし、継続案件に繋がる見込み

(単位：件)	2018年9月期	2019年9月期	前期比(%)
新規案件	40	47	+17.5
研究テーマ	14	20	+42.9

(単位：社)	2018年9月期	2019年9月期	前期比(%)
新規取引先	8	16	+100.0

2. 今後に関して

通期連結業績予想

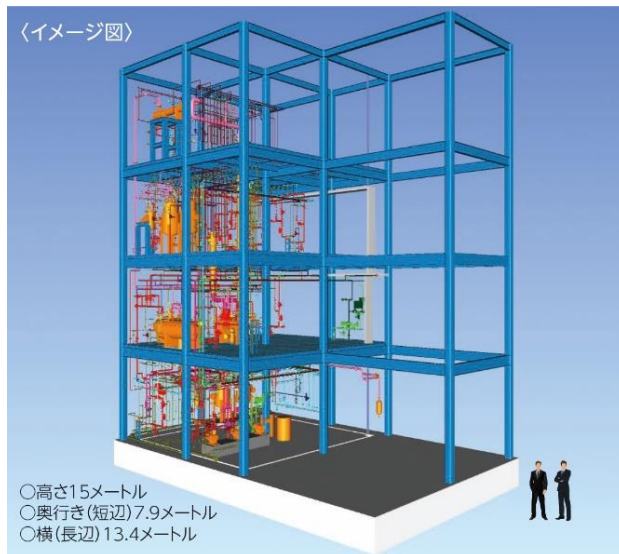
- ◆ 子会社設立によるプラントサービスへの注力及び連続蒸留マルチプラントの稼働並びに大型蒸留装置の改造によって、増収見込み
- ◆ 人員増強に伴う人件費及び設備投資に伴う減価償却費は増加のため、減益見込み

(単位：百万円)	2019年9月期	2020年9月期 通期予想	前期比(%)
売上高	1,088	1,230	+13.0
営業利益	107	76	▲29.4
当期純利益	72	52	▲28.7
営業利益率(%)	9.9	6.2	
配当性向(%)	36.6	51.3	

連続蒸留サービス開始

- ◆ 研究開発段階や小規模の生産段階にある新素材等を大規模生産に移す際の、最適な加熱温度や加える圧力等を検討するサービスを開始

＜連続蒸留マルチプラント設備概要＞



有効理論段数	～36 段
圧力	100Pa～常圧
加熱温度	～300℃
冷却温度	0℃～
対応融点	～100℃
留出部	塔頂、中間、缶出
フィード量	4.1～22L/h
危険物対応	4類1石取扱可

顧客の新しい蒸留塔の建設、
既存設備の運転条件の変更、生産を想定したサンプル作成等の要望に対応

大型蒸留設備による多品目対応サービス開始

- ◆ 特定物質の量産に特化して設計された蒸留塔を、常温固体の物質など様々な物性に対応するべく、プロセスラインの改修を実施

<大型蒸留設備概要>



有効理論段数	40 段
圧力	100Pa～常圧
加熱温度	～280℃
冷却温度	10℃～
対応融点	～100℃
釜容量	10,000L
生産量	～1,000t/年

高融点物質・高付加価値案件へ対応可能に

プラントサービス本格展開開始

- ◆ プラントサービス専門の子会社を設立

社名

ユカエンジニアリング株式会社

設立日

2019年10月1日

目的

プラントサービスの業容拡大に向け、建設業許可を取得し、建設工事を含む案件への対応を可能にすることで、顧客への提案力充実を図る

サービス

蒸留装置の設計・販売
機械器具設置工事の設計・施工



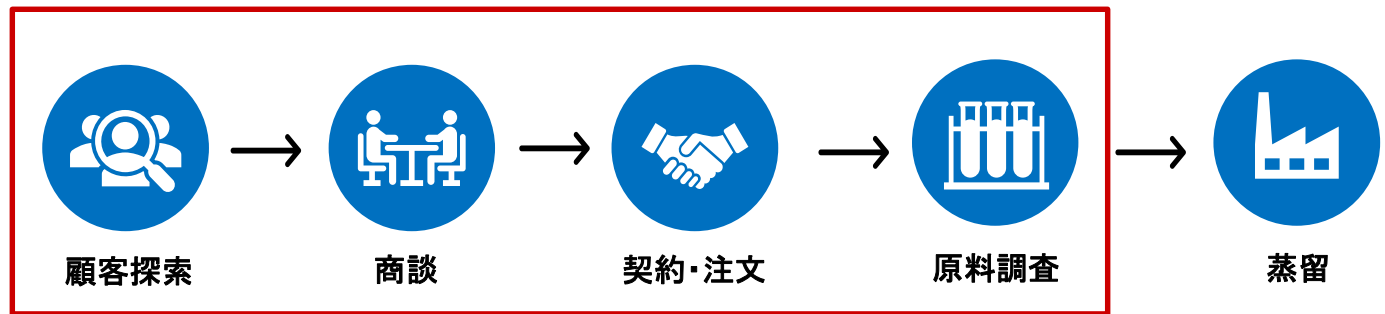
イメージ図

新たな収益の柱である **プラントサービスを強化**

海外展開体制の整備

◆ 当社の蒸留サービスを海外展開するために、受注方法の多様化を予定

製造即応サービス



事前契約

受託蒸留のパッケージ化



事業拡大の準備を行う

3. 参考資料

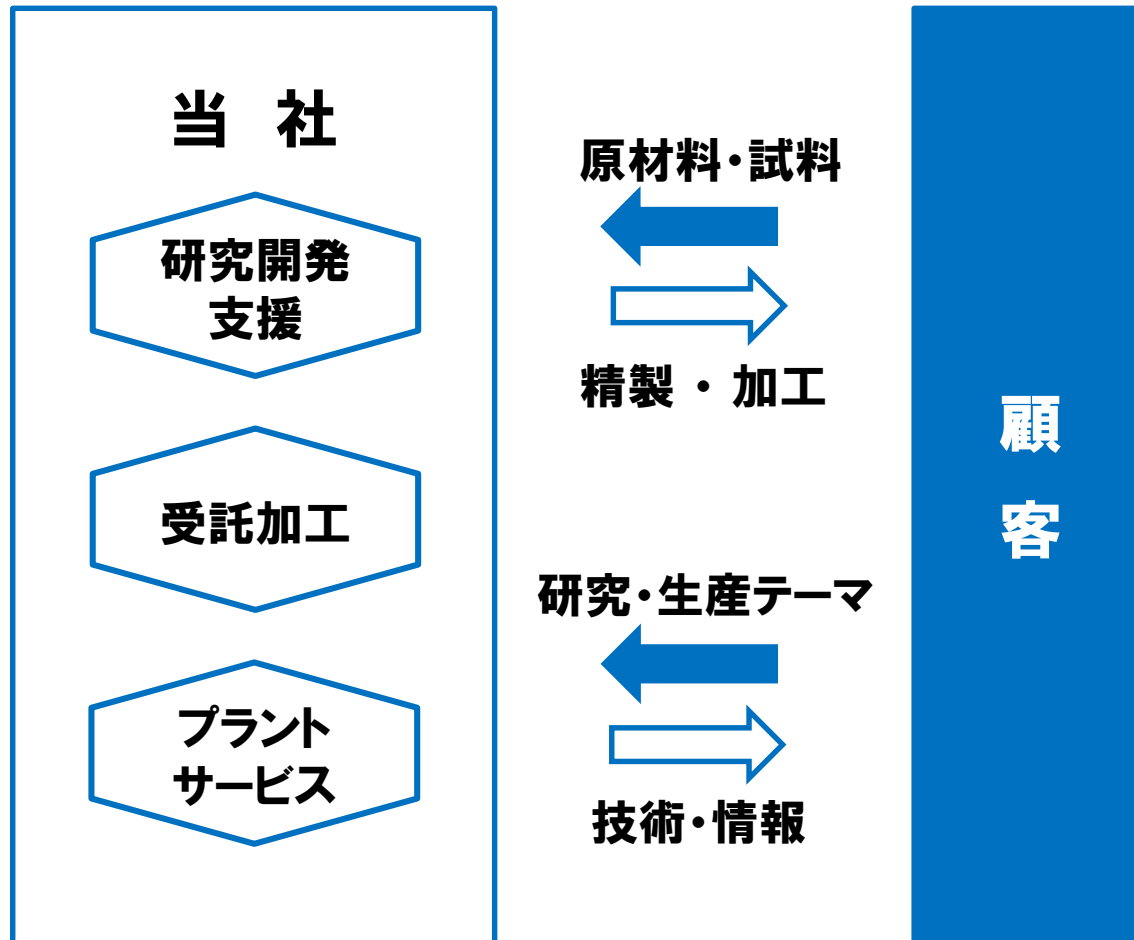
会社概要

- ◆ 社名 大阪油化工業株式会社
- ◆ 代表者 代表取締役社長 堀田哲平
- ◆ 創業 1949年11月
- ◆ 設立 1962年2月
- ◆ 本社所在地 大阪府枚方市新町一丁目12番1号 太陽生命枚方ビル7階
- ◆ 資本金 346百万円(2019年9月30日時点)
- ◆ 決算期 9月末
- ◆ 従業員数 50名(2019年9月30日時点)

沿革

年月	概要
1949年11月	粗パラフィンの精製及び販売のため、大阪府大阪市東成区に大阪油化工業所を創業
1962年2月	大阪油化工業株式会社を大阪府枚方市津田に設立(資本金2,000千円)
1963年4月	当社の独自設計による、減圧蒸留装置を本社工場(旧枚方工場)に設置
1973年11月	大阪府枚方市春日西町に本社及び工場(現枚方工場)を新築し、大阪府枚方市津田より本社移転
1998年4月	有機EL材料精製に対応するため、昇華精製装置を本社工場に設置
2000年4月	少量多品種に対応するため、高真空蒸留装置を本社工場に設置
2008年4月	ISO14001認証取得
2008年12月	ISO9001認証取得
2012年4月	研究開発支援分野を強化するため、研究実験棟を本社工場敷地内に設立
2013年4月	多様化する顧客ニーズに対応するため、研究開発用蒸留設備を本社工場に設置
2014年7月	増加する顧客ニーズに対応するため、プラントサービスを開始
2015年9月	生産能力増強のため、研究実験棟を本社工場敷地内に増設
2017年10月	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場
2019年1月	大阪府枚方市新町に本社移転し、東京都中央区に東京営業所を新設
2019年3月	ISO45001認証取得
2019年6月	連続蒸留のテスト案件に対応するため、連続蒸留マルチプラントを枚方工場に設置
2019年10月	大阪府枚方市新町に子会社、ユカエンジニアリング株式会社を設立

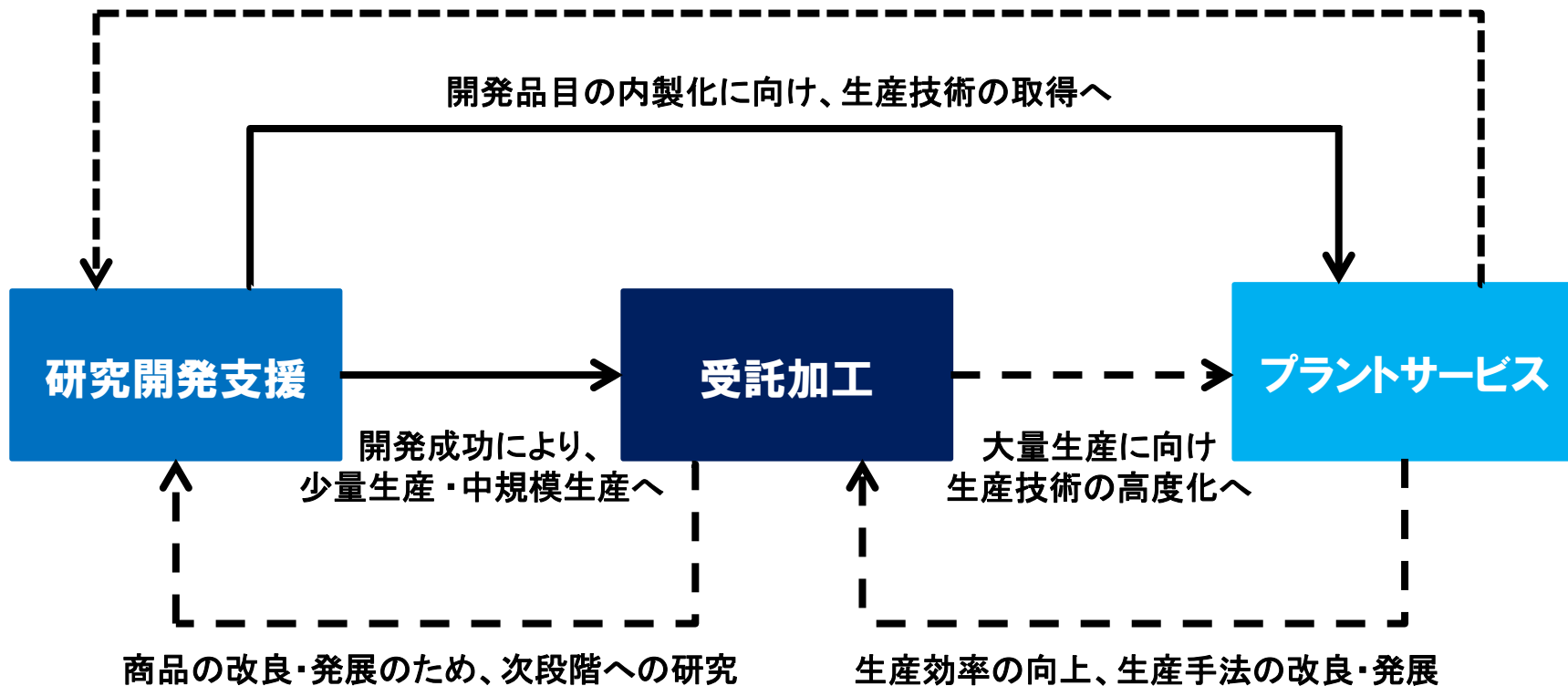
事業系統図



事業の流れ

生産品目の改定、装置の効率化のため、次段階の研究へ

開発品目の内製化に向け、生産技術の取得へ



一気通貫サービスの提供



＜お問い合わせ先＞

業務部

www.osaka-yuka.co.jp/contact/

MAIL md@osaka-yuka.co.jp

TEL 072-861-5322

＜本資料取扱上の注意点＞

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社に関連する業界動向等により変動する可能性があります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載している将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。また、本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。